

## ひたちなか市図書館協議会(※)新中央図書館整備検討についての意見(概要)

### ※図書館法第14条第3項に基づく機関

(構成委員:学校教育, 社会教育関係者, 家庭教育の向上に資する活動を行うもの, 学識経験者)

令和元年7月2日 令和元年度第1回 ひたちなか市立図書館協議会

#### ○その他 新中央図書館整備基本計画について

##### 【委員からの主な意見】

・郷土資料関係の強化をお願いしたいです。利用者の多くが新しい資料・情報を求めているということは承知しているが、郷土資料は一度なくなってしまうと取り返しのつかないことになってしまうもので、基本計画の段階から体系的に収集を強化していかないと後からカバーするのも難しいのではないかと。

・たとえばマンガというのが一つのメディア、表現形態だというふうに考えれば、さまざまなことがスッと理解されるのではないのでしょうか。その一つの表現形態のなかに、ダメなものもあれば素晴らしいものもある。そこは活字の本とまったく同じで、マンガというものを図書館がどう扱うのか、それはわれわれ協議会委員も考えていかないとならないことだと感じる。

令和2年1月17日 令和元年度第3回 ひたちなか市立図書館協議会

#### 新中央図書館の整備候補地について

##### 【委員からの主な意見】

##### (1)第4候補地について(水の影響について)

・この評価に、水の影響のことも入っているか。

⇒(市)今の計画で図書館エリアのところまで水が来ることは無いと考えているため、水害については評価に入っていない。

・親水性中央公園のロケーションは非常に広々伸び伸びとした開放的な景色が見られる良好な空間だと思う。この親水性中央公園が供用開始に至ったということもあって、検討の対象になったと思われる。浸水の件については、建設が予定されているダムの天端より高いところに水が来ることはあり得ないということだと思う。

・過去に昭和通りの市役所前が冠水して駅まで車で行けなかったことがある。最終的に(候補地4に)決定された場合、昭和通りが建物の2階部分となり、市役所(前)から下りて行って、親水性中央公園までは下りない途中の道路、いわゆる警察署の

裏の道路の高さが(図書館の)1階になると高低差が大きく、整備費用もかなり掛かり、整備に時間もかかる。

・候補地4は、この場所での図書館がだいたい50年続くとすれば、この想定で大丈夫なのか心配になってくる。想定外の水が溢れても大丈夫な対策を講じておいた方が良くと思う。とにかく水対策については完璧にお願いしたい。

(2) 第4候補地について(アクセスについて)

・(候補地4だと)昭和通りは交通網も整備されているが、高齢者にとって高低差のある(公園側の)下を歩くのは難しいから配慮してほしいと思う。

・高齢者や子ども連れの方も利用しやすい、周辺の交通機関の利便性についても計画に盛り込んでいただきたい。

(3)第4候補地について(その他)

・これまで何回かの審議を経ているため、候補地としては大きな矛盾は感じられない。問題は、利用者が来館したい図書館かどうか重要である。来館しづらい場合はスタッフがどう努力して集客するかが課題となる。

・平日・休日に付近を、親水性中央公園の中をジョギングしたり、ウォーキングしたり、自転車に乗っている方を何人かは見かけている。しかし、本当に何人かで、図書館が出来て、そこが利用されるようになるには、相当のPRが必要になる。

(4)全体の評価について

・候補地3と候補地4の優劣については、一概に決定し難いと思う。